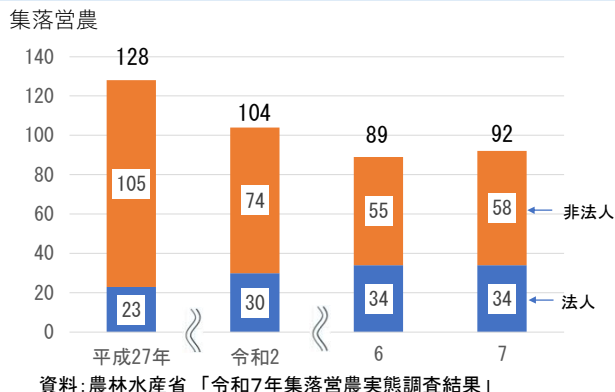


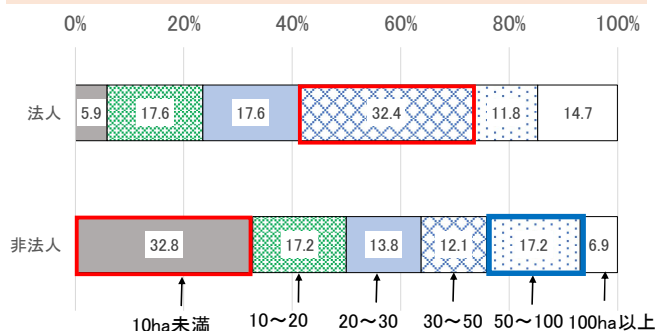
データで見る宮崎の 集落営農 !!

- 令和7年集落営農実態調査結果（令和7年2月1日現在）が公表され、宮崎県の集落営農数は「92」、うち法人の集落営農数は「34」で前年同様、非法人の集落営農数は「58」で前年から3増加しました。
- 農地の現況集積面積（規模別）の集落営農数割合をみると、法人は30～50haの面積規模割合が32.4%（実数11）と最も高く、非法人では10ha未満の割合が32.8%（実数19）と最も高くなっています。また、非法人の50～100ha規模の割合は17.2%（実数10）と、全国（7.1%）に比べ高い割合となっています。

集落営農数の推移（宮崎県）



農地の現況集積面積※規模別
集落営農数割合（宮崎県）



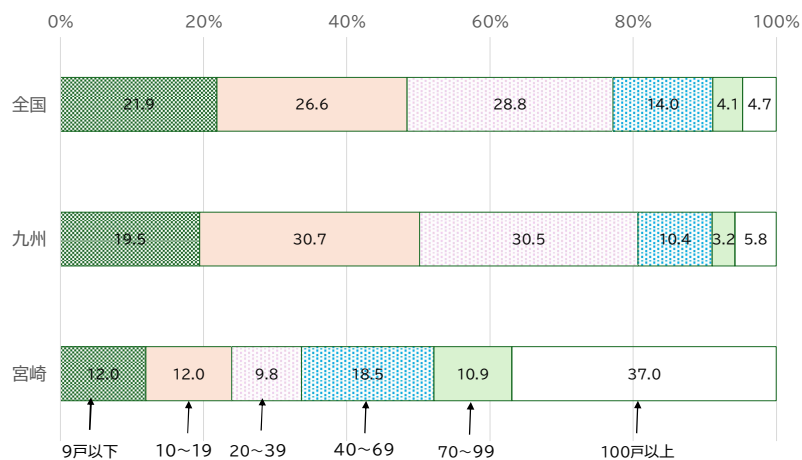
令和7年集落営農実態調査結果

集落営農を構成する農家数別にみた集落営農数割合

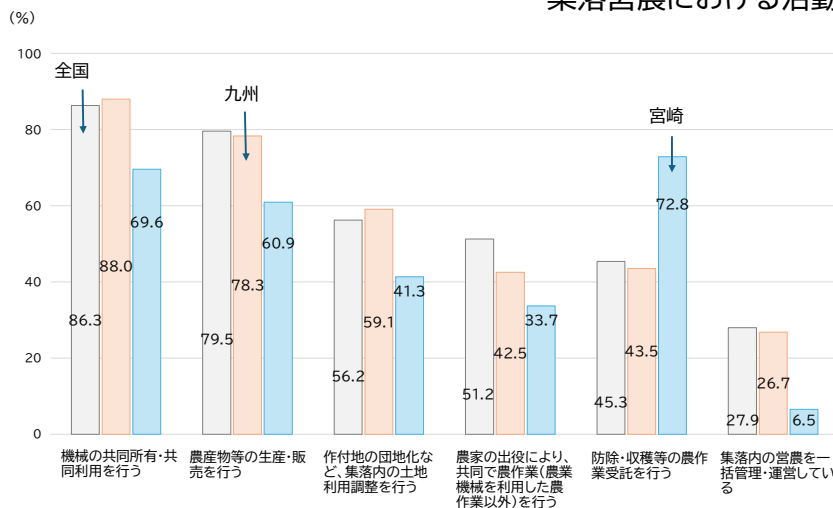
結果概要

集落営農を構成する農家数別に集落営農数割合をみると、全国及び九州では10～19戸、20～39戸の割合が高く、戸数が増加するほど割合が低い傾向となっています。

一方、宮崎では100戸以上の割合が最も高く37.0%を占め、次いで40～69戸の18.5%となっています。



集落営農における活動内容（複数回答）



結果概要

集落営農における具体的な活動内容をみると、全国及び九州では「機械の共同所有・共同利用を行う」集落営農の割合が最も高く、次いで「農産物等の生産・販売を行う」となっています。

一方、宮崎では「防除・収穫等の農作業受託を行う」が72.8%と最も高くなっており、集落営農の活動内容にも違いの見える結果となりました。